



精神訪問看護についてのお知らせ

中部メディカル 訪問看護ステーションは、「自立支援医療（精神通院医療）」の指定医療機関です。サービスのご利用にあたっては健康保険が適用になり、一部負担金または無料で訪問看護サービスを受けることができます。



【Q & A】

- Q うつ病や統合失調症など、精神疾患の方の訪問看護はどんな効果があるの？
- A 通院中に訪問看護を開始した方でも、訪問看護開始後の入院日数は大きく減少し、医療費を削減するという報告があります。（厚生労働省資料；今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会）
- Q 精神疾患の方の訪問看護については、医療保険の給付となるの？
- A 精神疾患の方が要介護認定を受けて、要支援又は要介護の認定が行われた場合は、介護保険から訪問看護費を給付することになります。ただし、社会復帰施設の入所者への訪問看護（複数の対象者に同時に行う精神科訪問看護）及び精神科を標榜する保険医療機関が行う「精神科訪問看護・指導料」については、医療保険からの給付となり、介護保険による訪問看護と併用可能です。
- Q どのような人が自立支援医療の対象になるの？
- A 指定医療機関（※心療内科・精神科の病院・クリニック）で、うつ病や統合失調症等と診断された場合、自立支援医療が適用となります。年齢制限はありません。
- Q 仕事をしていると、自立支援医療は受けられないの？
- A 働いているから自立支援医療（精神通院医療）を受けられないということはありませんので、どんなことでもご相談ください。

中部メディカル 訪問看護ステーションでは、申請のお手伝いからさせていただきます。

精神疾患でお困りの方、ご家族の方は当ステーションまでお気軽にご相談ください。（熊澤・代表）

中部メディカル新聞は皆さまの情報をお待ちしております



中部メディカルのスタッフ紹介

皆様こんにちは！ 中部メディカル 訪問看護ステーションで管理者を務めさせて頂いております河合朋子と申します。在宅分野で働くようになり6年ほどになります。私は岐阜県美濃市に生まれ、子供の頃は丁度今くらいの季節になりますと、長良川で毎日泳いでいました。夜には父が長良川で取ってきた天然の鮎を、母が塩焼きにして食べさせてくれたことを思い出します。看護学校は金沢にある学校でしたので、親元から離れ3年間伸び伸びと学生生活を送りました。卒業後は付属の大学病院の集中治療室に配属され、カテーテルに繋がれて亡くなっていく姿を見ながら、「看護師の仕事はなんだろうか？」と日々疑問を抱くようになりました。その後紆余曲折を経て、訪問看護の仕事を選びました。訪問看護の仕事は色々体験した仕事の中で、一番楽しくもあり、難しさもある仕事だと思っております。地域の皆様と連携して、まずは訪問看護ステーションを知っていただくことが私たちの役割だと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。（河合 朋子・管理者）



私たちのポリシー

私たちはより質の高いサービス提供のため、毎日接客マナー向上のワンポイントレッスンをしています。最近は幾つかある接客の中から「敬語」についてよく勉強しております。普段から分かっているつもりで話していましたが、ロールプレイをしてみると至らないところが見つかり、はっとすることが度々あります。これからもスタッフと一緒に正しい敬語が使えるよう努力を続けていきたいと思っております。（熊澤真・専務）



中部メディカル 訪問看護ステーションの理念

- ところを大切に （ご本人とご家族のところを大切にします）
- 連携を大切に （地域のケアチームと親密で良好な関係を築いていきます）
- スピードを大切に （出来る限り早く対応して信頼されるステーションを目指します）



看護師雑記 みちくさ

毎日むしむし暑い日々です。久しぶりに雨になり、わが家でも緑のカーテンにする為に朝顔の種をまいてあったのが、やっと本葉までのびました。元気よく伸びをしているような気がします。私は、いつ蔓が伸びて可愛いらしい花を咲かせるかと、毎日見にいて、「大きくなーれ、大きくなーれ」と話しかけています。枯れないことを祈って。

熱中症に気をつける時期となりました。早めの水分補給に心がけてくださいね。(加藤・看護師)



中部メディカル 訪問看護ステーションでは、外部研修に積極的に参加しています。学んだことをもとに、毎週水曜日の社内勉強会に活かしています。6月は「フィジカルアセスメント」について勉強しました。



フィジカルアセスメントとは？

対話を交わしながら患者さんを観察し、呼吸や心音を聞き取り、聴打診や触診をし、アセスメント（評価）を行うことを言います。むかし病院へ行って、先生に背中やお腹をトントンと叩かれた経験をお持ちの方も多いと思います。最近の病院など医療機関では、最先端の機器を使って医師が患者さんを診察できるので、フィジカルアセスメントがあまり行われていないところもあります。ですが、訪問看護の場合は、最先端の医療機器に頼って患者さんをアセスメントすることはできません。そこで、看護師によるフィジカルアセスメントが大切になります。



在宅看護でのフィジカルアセスメントでは、

- ①緊急性や重症度の高い問題からアセスメントを行う
- ②潜在的な問題を毎回の訪問看護でアセスメントし、主観的客観的情報を収集して悪化の予防や健康増進につなげる
- ③五感を活用しながら、「なにかおかしい？」ちょっとした変化を感じとる=「五感の看護」

この3つが特に大切になります。これらの情報を整理し吟味するには知識があってこそできる技です。以上を踏まえて、中部メディカル 訪問看護ステーションでは、朝夕のミーティングで利用者様の情報をスタッフ間で共有し、少しでも皆様に貢献できるよう努めております。

7月は、腰痛症（メディカルストレッチング）、人工肛門、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の勉強会を行う予定です。ホームページの管理者ブログでも公開中です。ぜひご覧ください。(大野・看護師)



スタッフのほっと一息

会社から車で5分の『パティスリー・ラティアル』さんへ行ってきました。店内に入るとすぐに、可愛いく美味しそうなケーキが出迎えてくれました！

カフェスペースもあり、新作のケーキをいただきました。珈琲も深煎りでケーキに合っていました。静かで穏やかな店内で、次回は何を注文しようか決めて帰ってきました(笑)

本格的に暑くなる時期がやってきます。美味しいものを食べて乗り切るといのはいかがでしょうか。

そしてお近くにお越しの際は、弊社事務所にお立ち寄り下さい。

皆様の情報もお待ちしております。(三宅・看護師)



訪問看護、訪問リハビリについてのご質問ご相談のお電話メールをお待ちしております
勉強会資料希望の方は無料で配布致します。ホームページからもお問い合わせできます



事業所番号 NO.2361390186

中部メディカル 訪問看護ステーション

〒463-0048 名古屋市守山区小幡南三丁目 17-31 B-3

TEL 052-792-9802 FAX 052-792-9803

携帯 080-5298-9513

E-mail chubucare@arion.ocn.ne.jp

HP <http://www.chubu-med.com>

